

NEWS RELEASE

2022年9月20日

HAYAMA SAJIMA ART COAST CONNECT 実行委員会

芸術の秋に三浦半島をアートで巡る旅、アートフェス 「HAYAMA SAJIMA ART COAST CONNECT 2022」 10月21日(金)～23日(日)開催

～コロナ禍で希薄気味になった人とのつながりを葉山・佐島・横須賀からアートで広げる～

HAYAMA SAJIMA ART COAST CONNECT 実行委員会(以下:HaSACC 実行委員会)は、10月21日(金)から10月23日(日)の3日間、健康型有料老人ホーム「マゼラン湘南佐島」、芦名の浄楽寺を含む複数の会場で、葉山・佐島・横須賀市を舞台としたアートフェス「HAYAMA SAJIMA ART COAST CONNECT 2022」、略して「HaSACC (ハサク) 2022」を開催しますので、ここにお知らせいたします。

■「HaSACC 2022」公式サイト:<https://hasacc.org/>



「HAYAMA SAJIMA ART COAST CONNECT 2022」ビジュアル

「HAYAMA SAJIMA ART COAST CONNECT 2022」(以降:HaSACC (ハサク) 2022)のコンセプトは「葉山・佐島・横須賀を、アートを巡る旅で楽しみ、人々とつながろう。」です。長引くコロナ禍でリアルな人とのつながりが希薄になりつつある中、様々なアートプログラムを通じ、葉山・佐島・横須賀の新たな魅力を発見してもらい、三浦半島を盛り上げるとともに人々のつながりを広げていくことを目指します。

三浦郡葉山町、横須賀市内の会場をメインに、現代アーティスト3作家のこのフェス初公開の新作や歴史的な仏像の展示、三浦半島の自然を楽しむワークショップ、アートを日常の身近なものとして感じながら三浦半島の新しい魅力を発見する機会を創造します。さらに、22日(土)・23日(日)は、本フェスのキュレーターによるガイドツアーを実施。芸術の秋にアートをテーマにした葉山・佐島・横須賀を巡る旅を提案します。

■アートフェス「HaSACC (ハサック) 2022」概要

- ・名称: HAYAMA SAJIMA ART COAST CONNECT 2022 (略称: HaSACC 2022)
- ・開催期間: 10月21日(金)～10月23日(日)
- ・開催時間: 10/21(金)は 16:00～19:00、10/22(土)23(日)は 10:00～19:00
- ・入場: 無料(ワークショップ参加は有料)
- ・参加アーティスト・登壇者: 8組
- ・キュレーター: 佐藤麻紀子(HaSACC 実行委員会 事務局長)
- ・会場: マゼラン湘南佐島(横須賀市佐島)、浄楽寺(横須賀市芦名)、
横須賀市ヴェルニー公園(横須賀市汐入町)、他
- ・主催: HAYAMA SAJIMA ART COAST CONNECT 実行委員会
- ・後援: 横須賀市
- ・助成: 笹川日仏財団
- ・協賛: 株式会社ユニマツ リタイアメント・コミュニティ、株式会社三浦観光バス
- ・協力: 浄楽寺、株式会社湘南交響、10 inc.、株式会社 RED

■一般のお客様からのお問い合わせ先

HaSACC (ハサック) 実行委員会 メール: info@hasacc.org

※新型コロナウイルスをはじめとした感染状況などにより、予告なしに内容の変更・中止をする場合があります。

■「HaSACC 2022」4つの見どころ

「マゼラン湘南佐島」を中心として「浄楽寺」「横須賀市ヴェルニー公園」の3つのメイン会場でアートを鑑賞いただけます。アートを通じて、葉山・佐島・横須賀の新たな魅力を発見し、お楽しみください。

<見どころ1>地域の宝を、今まで知らなかった発見を得て、誇りにする

メイン会場の1つ「浄楽寺」には、全国に現存する運慶作仏像真作18体のうち、5体(いずれも国指定重要文化財)が安置されています。通常は春と秋の年2日しか開帳しないこの仏像を、本フェスの開催期間、特別に拝観いただくことができます。

浄楽寺の運慶作仏像5体のうち2体は、中世歴史博物館「神奈川県立金沢文庫(以下:金沢文庫)」主催の『運慶800年遠忌記念特別展 運慶 鎌倉幕府と三浦一族』にご出陳されていますが、本尊である阿弥陀三尊像を御開帳していただきます。「浄楽寺」と地元の方々のご協力により実現した特別開帳です。拝観の際には、暗闇空間の中でろうそくの光だけでお参りする、幻想的な体験もお楽しみいただけます。

<見どころ2>現代の現代美術作家・上根拓馬氏の“新作”を展示

メイン会場の1つ「マゼラン湘南佐島」では、仏像の世界をテーマにフィギュアを創作する現代美術作家、上根拓馬氏の新作を展示します。

(上根拓馬: <https://shukado.com/artists/kamine-takuma/>)



現代美術作家
上根拓馬氏

■上根氏の仏像作品を運慶ゆかりのお寺に展示、新旧アートを併せみる

上根拓馬氏の作品を、浄楽寺をはじめとする三浦半島内の慶派、三浦一族ゆかりのお寺にも展示し、歴史的な仏像と現代アートを併せて観る機会を創出します。

<見どころ3>“新作“を含むフランスのテクノロジーアートに親しみ、フランスの今を感じる

「マゼラン湘南佐島」の屋内で、フランス・パリを拠点に世界中で活動するアートユニット「NONOTAK studio(以下:NONOTAK)」のテクノロジーアートを展示。NONOTAK の象徴である“光”で映し出される曲線や直線などの構成と、それらとシンクロした演奏で、視覚と聴覚に訴える作品を楽しめます。今回は、このフェスティバルに併せて阿弥陀経の『読経』をモチーフにオリジナルサウンドを創作した新作も披露します。(NONOTAK studio: <https://www.nonotak.com/>)



NONOTAK studio
(Noemi Schipfer,
Takami Nakamoto)

さらに NONOTAK の映像作品を「横須賀市ヴェルニー公園(以下、ヴェルニー公園)」でサブ展示します。ヴェルニー公園は幕末にフランス人技師ヴェルニー氏と交流があったことからフランス庭園様式を取り入れ、敷地内にはヴェルニー記念館があります。フランスにゆかりのある公園で現代フランスのアーティストの作品をお楽しみください。

<見どころ4>浄楽寺に、向山氏の“新作”がお目見え！光を極限まで抽象化した作品をお寺に展示

浄楽寺では、向山喜章氏の“新作”、運慶仏の光背(こうはい)と月影(つきかげ)をコンセプトとし、円形型の5点組キャンバス作品の展示を予定しています。



美術家
向山喜章氏

■三浦半島の豊かな自然に思いを馳せるワークショップ&地元のエコなマルシェ

さらに本フェスには、環境にやさしい暮らしを発信する『エコルシェ』を開催するみうらん氏をはじめ、植物の力を借りて人々を元気に導くお手伝いをしている一般社団法人はっぷ(代表理事:大橋マキ、以降はっぷ)など、地元で人と人をつなぐ活動をしている方々にも参画いただきます。一例として、三浦半島の和ハーブたちを写真とレクチャーでご紹介し季節の養生茶を調合する、はっぷのワークショップなど、様々な企画をお楽しみいただけます。

■キュレーターと巡るガイドツアー

10月22日(土)・23日(日)の2日間には、本フェスのキュレーターによるガイドツアーを実施します。キュレーターのガイドで巡る三浦半島に散りばめられたアート作品をより深くお楽しみいただけるツアーです。(1日3便 運航/9:30~、13:30~、17:00~(予定)、事前申し込み制/料金:500円/詳細は今後開設する公式サイト申し込みページをご覧ください。)

<報道関係者からのお問合せ先>

HAYAMA SAJIMA ART COAST CONNECT 実行委員会 事務局 担当:下村、崔
メール: press@hasacc.org、携帯:080-4881-9280(下村)、080-4881-8929(崔)